

CASE

就職活動の時期なのに 何をやっていいかわからず 焦っている。

04

悩みと相談

3年次後期になり、まわりは就職活動の話題でもちきりだが、「これから何をやっていいかわからない」「やりたいことが見つからない」「将来への漠然とした不安」だけがある、どうしたらいいでしょうか。(男子学生3年)

対応策

大学へ入学したときから実は何をやりたいのか見つからないままで、就職活動の時期になってこうした相談に来る学生は少なくありません。また、結局見つからないまま不安を抱えながらなんとなく就職してしまう学生もいます。こうした相談への対応には次の3つのポイントがあります。

- ①結論を早く求めようとせず、じっくり話を聴く。焦れば焦るほど混乱してしまいます。
- ②好きなことは何か、今興味を持って取り組んでいることは何かを聴きます。本人でも気がつかないやりたいことのヒントが隠れている場合があります。また、反対に、やりたくないことを聴いていく消去法的な聴き方で、やりたいことの輪郭が見えてくることもあります。
- ③情報不足の場合もあるので、必要な情報を提供します。また、いろいろな選択肢があることを示すことで、学生本人に考えるヒントを提供します。

POINT —●ここがポイント

最後は学生本人が決める問題ですので、決めるまでの過程をサポートするというかわり方で接するのがよいでしょう。